

高知市社会福祉協議会 障害者福祉センター

こちノーマライゼーション

K o c h i N o r m a l i z a t i o n

Vol.40

●●● 2015.11



特集

「障害者スポーツ」

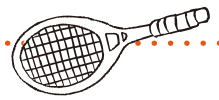
その1……②～③

高知市障害者相談センター……④～⑤

行事カレンダー……⑥

リレーエッセイ……⑦

写真コーナー「トサミズキ」……⑧



特集

障害者スポーツ

パラリンピックでの日本選手団のメダル獲得、車椅子テニスの国枝慎吾選手や上地結衣選手の世界での活躍等で、障害者スポーツは広く一般に知られてきました。

皆さんが、障害者スポーツと聞いて真っ先に思い浮かべるのは何でしょうか。映画や漫画等のさまざまなメディアで紹介されている「車椅子バスケットボール」などでしょうか。

障害者スポーツは、パラリンピック夏季大会の競技だけでも、車椅子バスケットボールをはじめ、アーチェリー、陸上、水泳など約20種目もあります。来年9月には、ブラジルのリオデジャネイロでパラリンピックが開催されます。

今回は、あらためて「障害者スポーツとは何か」について、障害者スポーツの普及・推進に取り組んでいる高知県立障害者スポーツセンターを取材しました。



パラリンピック 夏季大会競技種目

- アーチェリー
- 5人制サッカー
- ボート
- シッティングバレーボール
- 陸上競技
- 7人制サッカー
- セーリング
- 車椅子バスケットボール
- ボッチャ
- ゴールボール
- 射撃
- 車椅子フェンシング
- 自転車
- 柔道
- 水泳
- ウィルチェアーラグビー
- 馬術
- パワーリフティング
- 卓球
- 車椅子テニス
- カヌー
- トライアスロン

参考：日本パラリンピック委員会ホームページ



車椅子バスケットボール



車椅子マラソン



シッティングバレーボール



視覚障害者陸上



高知県立障害者スポーツセンター

この施設は、障害のある方のスポーツの振興及び社会参加の促進を図るため、平成8年に設置されました。高知県から社会福祉法人高知県社会福祉協議会が、指定管理者として委託を受けて運営しています。今回お話いただくのは、同センタースポーツ指導員の鳴瀧寛子さんです。

Q1 高知県立障害者スポーツセンターの事業内容

鳴瀧 私達は、障害のある方が生活の中にスポーツを取り入れるためのお手伝いや一般市民の方々への広報・啓発活動をしています。

当センターにお越しいただいた障害のある方への個人指導やスポーツ教室、各種大会の開催等、他団体と連携してさまざまな



障害者スポーツの体験教室



種まく大人たち事業

事業を展開しています。

また、障害者理解促進のために、主に小・中・高等学校を対象として、実際に障害のある方を講師に迎え、障害者スポーツの体験教室も実施しています。

Q2 障害者スポーツとは

鳴瀧 単に「障害者スポーツ」というと、何か特別なものと思われることがあります。が、ルールや用具等を各障害の特性に合わせて工夫したスポーツであり、決して特別なものではありません。

例えば、車椅子バスケットボールは、リングの高さやコート広さ、使用するボールまで通常のバスケットボールと同様です。しかし、選手は2本の足で走ることができないので、車椅子を使って行っています。

また、障害の特性に応じて新たなスポーツが発案される場合もあります。例えば、パラリンピックの正式種目にもなっている「ボッチャ」という競技は、重度の脳性麻痺

の方等を想定して作られました。目標の白いボールに向けて、赤青のボールを投げ、いかに距離を近づけるかということで競います。カーリングやペタンクに近い要素を持つているスポーツで、ゲーム性が高く、最近ではさまざまな障害のある方も幅広く行っています。

Q3 障害のある方へのスポーツに関する支援やこれからについて

鳴瀧 障害者スポーツセンターでは、障害のあるなしにかかわらず身近な地域でのスポーツ活動の推進を目的に『高知チャレンジドクラブ』（総合型地域スポーツクラブ）を平成19年に設立し、事務局を担当しています。また、小・中・高等学校へのスポーツ体験教室や講演に出向いてくださる障害当事者の方々に委員に構成した『種まく大人たち事業』も展開しており、障害種別の枠を越え、「子どもたちに何が伝えられるのか」さまざまな意見交換を通して、福祉教育について学んでいます。

その他には、高知県立中芸高等学校の生徒とタイアップし、県東部において『ユニバーサルフェスティバル』を開催しています。実際に生徒会が実行委員として参加し、障害のある方とかわる中で、生徒たちが変化していく様子が感じられます。

今後、当センターを拠点とした事業のみならず、障害のある方が身近な地域で、気軽にスポーツに取り組める環境づくりを推めていきます。



高知県立障害者スポーツセンター
スポーツ指導員

鳴瀧 寛子 さん

高知県立障害者スポーツセンター

お問い合わせ先

高知市春野町内ノ谷 1-1

Tel 088-841-0021

Fax 088-841-0065

URL <http://www.kochi-scfcd.com/>

E-mail sports11@kochi-scfcd.com



ユニバーサルフェスティバル in 東部



高知チャレンジドクラブ



高知市障害者相談センター

利用対象者

- ・原則、65歳未満の障害等のある高知市民と
そのご家族
- ・地域住民の方
- ・関係機関の方

※65歳以上の方は、各地区の高知市地域
高齢者支援センターが窓口になります。

相談の例

- ・福祉サービスについて知りたい
- ・仕事につきたい
- ・将来の生活について、相談にのってほしい
- ・手帳や年金の手続きについて知りたい 等

高知市内にお住まいの障害のある方の相談窓口が、平成27年度から、「高知市障害者相談センター」として、市内の4つのエリアごとに新設されました。
障害者相談センターとは、障害のある方のさまざまな相談をお受けする地域の窓口です。
障害者相談センターには相談員が配置されており、電話や訪問、関係機関と連携を図りながら支援を行います。
ご相談の際は、お住まいの地区を担当するセンターまでお問い合わせください。

	担当地区	センター名称	所在地	電話番号
				Fax番号
東 部	布師田・大津・三里 五台山・高須・介良 南街・北街・下知	障害者相談センター 東部	葛島4丁目3-3 東部健康福祉センター内	088-882-9391
				088-885-3556
西 部	朝倉・鴨田・旭街 初月・鏡	障害者相談センター 西部	福井扇町13-9	088-856-6540
				Fax兼用
南 部	潮江・長浜・御豊瀬 浦戸・春野	障害者相談センター 南部	百石町3丁目1-30 南部健康福祉センター内	088-856-9255
				088-856-9257
北 部	一宮・秦・江ノ口 小高坂・上街・高知街 土佐山	障害者相談センター 北部	本町4丁目2-40 ニッセイ高知ビル3階	088-820-5211
				088-856-5549



高知市障害者相談センターに
関するお問い合わせ先

高知市健康福祉部 障がい福祉課
Tel : 088-823-9378 Fax : 088-875-6684

開所時間

月曜日～金曜日(祝日を除く)
8:30～17:15



各障害者相談センター紹介

西部

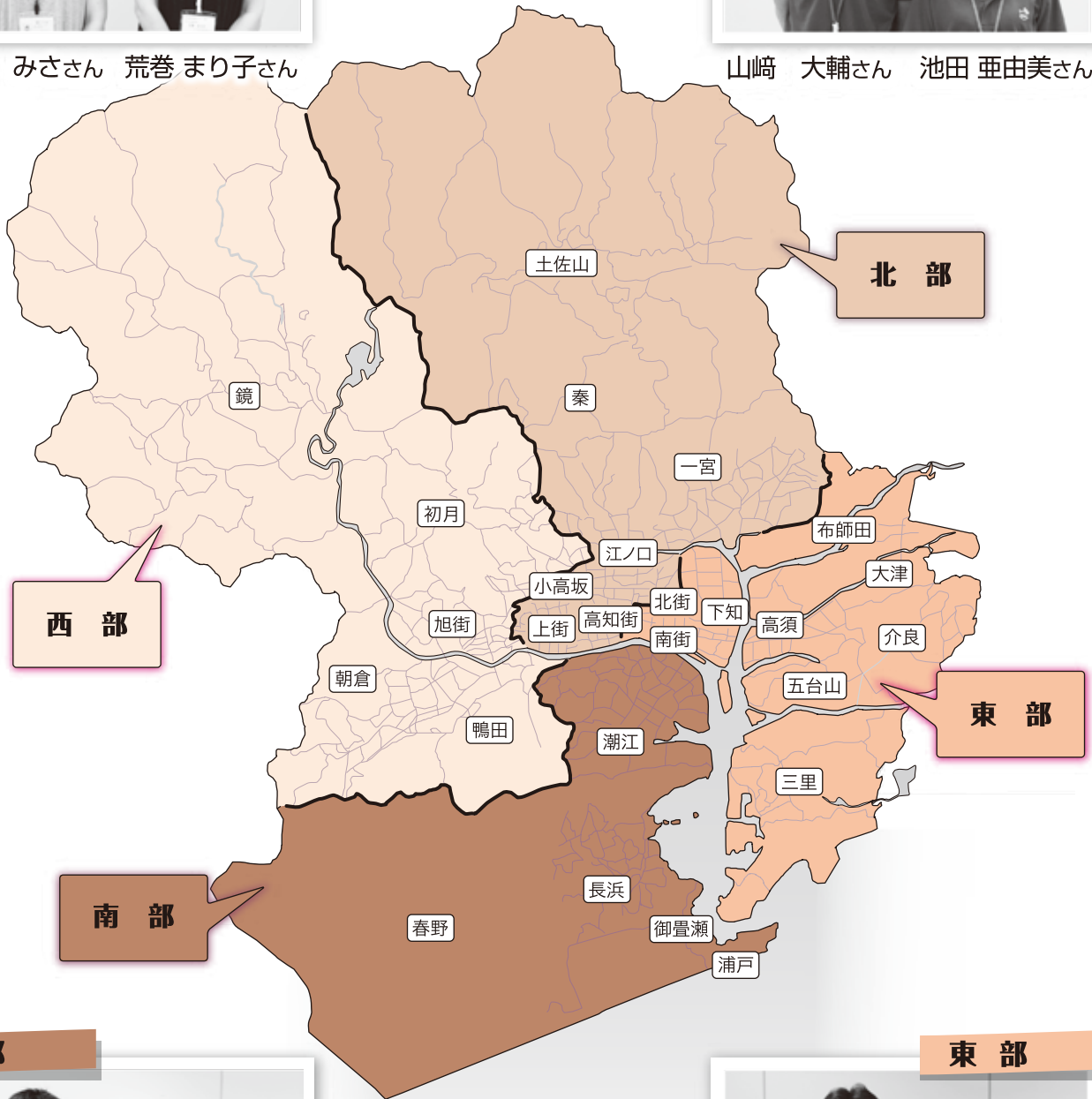


内田 みささん 荒巻 まり子さん

北部



山崎 大輔さん 池田 亜由美さん



南部



亀山 弘さん 多田 敬信さん

東部

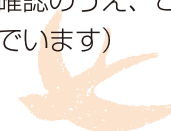


中越 健太郎さん 池知 美樹さん



行事カレンダー

平成28年3月までに高知市内で開催される、障害者関連の行事や講習会等の情報です。ご予約を確認のうえ、ご参加ください！（既に終了したものも含んでいます）



年間開催

平成27年4月3日 ～平成28年3月9日	高知市手話奉仕員養成講座（入門編・基礎編）	
平成27年5月12日 ～平成28年2月9日	手話通訳者養成講座Ⅰ ※奉仕員養成講座修了者対象	
問い合わせ先	高知県聴覚障害者情報センター	高知市越前町2丁目4-5 3階 Tel. 088-823-5922
平成27年5月16日 ～10月10日	平成27年度 高知県要約筆記者養成講座	
問い合わせ先	特定非営利活動法人 要約筆記 高知・やまもも	高知市旭天神町74 Tel. 090-7572-0855
平成27年5月31日	第17回 高知県障害者スポーツ大会	
問い合わせ先	高知県立障害者スポーツセンター	高知市春野町内ノ谷1-1 Tel. 088-841-0021
平成27年7月3日 ～7月5日	第14回 高知ふくし機器展（バリアフリーフェスティバル2015）	
問い合わせ先	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会	高知市朝倉375-1 高知県立ふくし交流プラザ内 Tel. 088-844-9007
平成27年9月27日	第2回 便利グッズの即売・福祉機器展示会&バリアフリー図書展示体験会	
問い合わせ先	視覚障害者向け機器展示室 ルミエールサロン	高知市大膳町6-32 高知県立盲学校内 Tel. 088-823-8820
平成27年10月9日 ～10月18日	第19回 スピリットアート（高知県障害者美術展）	
問い合わせ先	高知県 地域福祉部 障害保健福祉課	高知市丸ノ内1丁目2-20 Tel. 088-823-9663
平成27年10月25日	第36回 中央地区身体障害者大運動会	
問い合わせ先	特定非営利活動法人 高知市身体障害者連合会	高知市越前町1丁目4-6 Tel. 088-872-3880
平成27年11月5日	地区手をつなぐ育成会等連絡協議会	
問い合わせ先	社会福祉法人 高知県知的障害者育成会	南国市陣山字弥市531-1 Tel. 088-855-3717
平成28年1月17日	（仮称）高知市手話言語条例制定に向けてのフォーラム	
問い合わせ先	一般社団法人 高知県聴覚障害者協会	高知市越前町2丁目4-5 3階 Tel. 088-822-2794

定期開催

毎月第3木曜日 午後2時～4時30分	精神障害者家族の心の置き場所	
問い合わせ先	高知市精神障害者家族会連合会	高知市一ツ橋町1丁目136 Tel. 088-875-7571



どんな障害があっても「先生」になれ
めました。

で発達障害当事者が、それぞれ先生を務
めました。

「脳☆天気」から生まれた「みんなあ
が先生プロジェクト」にも取り組んでい
ます。「障害があっても誰もが先生」と
なって、お互いに学び合いましょようと
いう企画です。

第1弾は、「島ぞうり制作」で脳卒中
当事者が、第2弾は「ワードで名刺作り」
で発達障害当事者が、それぞれ先生を務
めました。

私は13年前に脳卒中になり、「右片麻
痺」「失語症」の後遺症がありますが、
今では、普通の会話や車の運転ができる
までになっております。

昨年より香美市で、『脳卒中当事者交
流会』コミュニケーション・カフェ「Y
es☆脳!」を運営し、会員も24名に
なりました。脳卒中当事者による自主運
営ですので、『参加者ではなく、参画者
になろう!』『失敗を喜び合える仲間
になろう!』を合言葉にしています。

その経験を活かしてタウンモビリティス
テーション「かくね」のスタッフとして、
主に木曜日の担当をしています。また、
午後2時から「コミュ・カフェ」「脳☆天
気」では、脳卒中やその他の障害を抱え
ている仲間、家族、そして、医療、介護
福祉の関係者、その他様々な方が集まっ
て、話しあうことを目指しています。



脳卒中リハビリ研究所
代表 福島 とみおさん

片麻痺は不自由だけれど…



るのは、決して他人に教えようとした時
ではなく、自ら学ぼうという姿勢が芽生
えた時です。つまり、「みんなあが社会
資源!」になれる可能性を秘めているの
です。

脳卒中当事者になって「なぜ、自分だ
けこの病気に・・・」と思っていました。
自分の関心が自分に向いている時に、元
気な当事者はどこにもいません。

多くの人が、体や心の病気で不安を抱
えて悩み苦しんでいます。他人のため
に一生懸命になっている脳卒中当事者が
驚くほど元気になっている場面に出会っ
たことがあります。

私には夢があります。『ありがとう』
と言えるだけでなく、『ありがとう』を
集める当事者を増やしたいのです。

『片麻痺は不自由だけれど、不幸じゃ
ない!』を胸に置きながら、元気な当事
者の一人としてこれからも活動していき
ます。

※タウンモビリティステーション「かくね」

障害者や高齢者の街歩きを支援し、車い
すやシルバーカー、ベビーカーの無料貸
出しと、買物の付添いボランティア(有
料)等を行っている。

高知市はりまや町1丁目1-24
Tel: 088-3923-2999
運営: NPO法人福祉住環境ネットワークこうち

お知らせ INFORMATION

(平成27年度 冬の講座)

行事名	点訳ボランティア養成講座 ～はじめての点字講座～	英国香草リップクリーム& アロマハンドクリーム教室	初めてのとんぼ玉体験 ～溶かしてつくる ガラスのアクセサリ～
日時	平成28年1月20日(水) ～3月23日(水) 毎週水曜日 18:30～20:30	▼第1回…平成28年1月26日(火) 南部健康福祉センター ▼第2回…平成28年2月2日(火) 高知市障害者福祉センター	▼第1回…平成28年2月16日(火) 高知市障害者福祉センター ▼第2回…平成28年2月23日(火) 南部健康福祉センター
場所	高知市障害者福祉センター	いずれも 13:30～15:30	いずれも 13:00～15:30
対象	高知市在住の方	高知市在住で障害のある方	
参加費等	テキスト代 600円程度 (前納)	材料費 1,000円 (前納)	材料費 1,570円 (前納)

詳細・お問い合わせは

高知市社会福祉協議会 障害者福祉センター 高知市旭町2丁目21-6
土・日曜日、祝日は休み Tel: 088-873-7717 Fax: 088-873-6420

編集後記

本号から写真コーナーを設けた。筆者自身、最近写真に凝っているのだが、構図等を計算して撮ったものより、何気なく撮った一枚にハッとさせられることが多い。日常的な何かに感動できる感性を持つことで、良い写真が生まれるのかもしれない。

次号のテーマは、「笑顔」。掲載できる数が限られているが、ぜひとも皆様の力作をご応募いただきたい。(A.M)

表紙デザイン

山中 美穂

スポーツを通して得られる心の繋がりをコンセプトに制作しました。

学校法人 龍馬学園
国際デザイン・ビューティカレッジ グラフィックデザイン科1年

写真コーナー
トサミズキ

今号から始めました写真コーナー トサミズキでは、思いやりや人と人とのつながりを感じさせる作品を募集します。掲載は5点までとなっており、掲載された方には粗品を差し上げます。皆様の力作をお待ちしておりますので、ふるってご応募ください。なお、応募方法等については、別紙読者アンケート裏面に記載しておりますので、ご参照ください。

今号のテーマ 「花」



「菜の花見」 甲藤 末美さん

家族が仲良く花を見ていたのがほほ笑ましく思えました。



「雪柳とかくれんぼ」 今村 文哉さん



「コウテイダリア」 眞鍋 健一さん



「どちらが綺麗」 西川 真由美さん

いつも笑顔で楽しく



「太陽」 津野 和夫さん

いつも満面の笑顔で周りの人も笑顔になってしまう

次号のテーマは、「笑顔」です。